

- 問1 日本の諸地域の降水量について述べた以下の説明のうち、瀬戸内の気候の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 山地に囲まれて季節風の影響が弱まるため、年間降水量が1500mmを下回るほど少ない。
 2. 夏から秋にかけて湿った空気や台風の影響を強く受けるため、年間降水量が非常に多い。
 3. 冬に北西からの季節風の影響を強く受けるため、冬の降水量（降雪量）が非常に多い。
 4. 梅雨や台風の影響をほとんど受けないため、一年中気温が低く降水量も極めて少ない。
- 問2 中央高地に位置する都市の統計において、年間の降水量が1000mm程度と非常に少なくなる理由として、地形の観点から説明した文として正しいものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. 周囲を高い山脈に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくくなっているため。
 2. 広大な盆地が広がっているため、海からの湿った風が届く前にすべて陸地で乾燥してしまうため。
 3. 標高が高いために上昇気流が発生しにくく、雲が発達する前に風が吹き抜けてしまうため。
 4. 平地が少なく地表面の温度が上がりにくいため、上昇気流に伴う雨雲が発生しないため。
- 問3 各自治体が土砂災害や洪水などの被害を少なくするために作成・公開している資料において、住民に対して地域の危険度や避難場所の情報を提示する主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 土地の形状や標高の正確な測定結果を、専門の研究者に提供するため
 2. 公共施設の建設予定地を住民に知らせ、都市開発を円滑に進めるため
 3. 自然災害の発生時に、住民が自ら適切な避難行動をとれるようにするため
 4. 観光名所や地域の特産品の分布を示し、地域経済を活性化させるため
- 問4 日本の周辺を流れる海流の分布において、北から南へ向かう流れ（寒流）について説明した文として正しいものはどれですか。（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. 太平洋側では対馬海流が南下し、日本海側では黒潮が南下している。
 2. 太平洋側では親潮が南下し、日本海側ではリマン海流が南下している。
 3. 太平洋側では黒潮が南下し、日本海側では対馬海流が南下している。
 4. 太平洋側ではリマン海流が南下し、日本海側では親潮が南下している。
- 問5 日本の大都市で見られる、都市中心部の気温が周辺地域より高くなる現象の主な原因として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 奈良県公立入試 類似）
1. ビルの密集や舗装道路の増加により熱がこもり、冷房や自動車からの人工排熱が増えるため
 2. 温室効果ガスの濃度が上昇し、地球全体の平均気温が上昇しているため
 3. 化石燃料の燃焼によって発生した硫黄酸化物が雨に溶け込み、森林を枯らしているため
 4. フロンガスの排出によってオゾン層が破壊され、地表に届く紫外線の量が増えているため
- 問6 ある都市の雨温図において、12月と1月の降水量がそれぞれ300mmを超え、冬の降水量が夏を大きく上回っているデータがあります。このような気候区分に属し、石川県の県庁所在地である都市はどこですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. 那覇
 2. 札幌
 3. 高松
 4. 金沢
- 問7 大規模なスポーツ施設や公園の地下に設置される、洪水対策を目的とした施設について、その設置が必要とされる背景と仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。（2017年 広島県公立入試 類似）
1. ヒートアイランド現象によって都市部の降水量が増加傾向にあるため、地下に冷たい雨水を蓄えて地表の温度を上昇させないように工夫している。
 2. 地震などの災害時に発生する火災に備え、消火活動に必要な水を確保すると同時に、地盤沈下を防ぐために地下水を補充する役割を担っている。
 3. 地表の多くが舗装されたことで雨水が地中に浸透しにくくなり、短時間で大量の雨水が流出して洪水を引き起こす恐れがあるため、一時的に水を貯める必要がある。
 4. 都市部では人口が密集し水源となる河川が不足しているため、降った雨を飲料水や生活用水として再利用するために、地下に大規模な貯水槽を設けている。
- 問8 瀬戸内海沿岸の地域で見られる「瀬戸内の気候」について、年間を通じて降水量が少なくなる理由を説明したもののとして、最も適切なものを選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本海から吹く湿った季節風が中国山地を越える際、大量の雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため。
 2. 黒潮（日本海流）の影響を強く受ける一方で、夏に太平洋からの湿った季節風が直接吹き込まない地形であるため。
 3. 標高の高い盆地に位置しており、周囲を高い山々に囲まれているため、雲が発生しにくい上昇気流が起こるため。
 4. 北西の季節風が中国山地に、南東の季節風が四国山地にさえぎられ、湿った空気が流れ込みにくいから。
- 問9 宮城県の上三陸海岸沿いにおける養殖業の収穫量を北海道の西岸と比較した統計では、宮城県の数値が北海道の約千倍近くに達することがあります。このように三陸海岸で養殖業が極めて盛んである地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 石川県公立入試 類似）
1. 奥行きのある深い入り江が連続するリアス海岸であり、外海の激しい波が遮られて水面が穏やかになるため。
 2. 広大な砂浜海岸が続いており、太陽の光が海底まで届きやすく、プランクトンが大量に発生する環境であるため。
 3. 海岸線が直線的で水深が深いため、大型の漁船が直接接岸でき、遠洋漁業と養殖を効率的に組み合わせられるため。
 4. 大規模な干拓によって人工的な入り江が作られており、潮の満ち引きを自由に制御して養殖を行えるため。
- 問10 ある地域の2万5千分の1地形図を確認したところ、地点Cから地点Dに向かう区間は等高線が非常に密集しており、地点Eから地点Fに向かう区間は等高線の間隔が広がっていました。この二つの区間の地形の様子を比較した説明として適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 等高線の密度は土地の高さを示すものであり、傾斜の度合いとは関係がない
 2. 地点C-D間の方が、地点E-F間よりも傾斜が急である
 3. 地点C-D間は平坦な土地であり、地点E-F間は急な崖になっている
 4. 地点E-F間の方が、地点C-D間よりも傾斜が急である
- 問11 熊本県などの九州地方と、新潟県などの日本海側に位置する地域の冬（12月～2月）の気候を比較したとき、新潟県側で日照時間が著しく少なくなる理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 山地を越えて吹き降りるフェーン現象が発生しやすく、地表付近の気温が上がって雲が発達しやすいから
 2. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海で水蒸気を蓄えて雪や雲をもたらすため
 3. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、高い山々を越える際に水分を失い、乾燥した空気が流れ込むため
 4. 暖流である日本海流（黒潮）の影響を強く受け、冬の時期に海上で発達した低気圧が停滞しやすいから